

一般社団法人 Com aqua 設立記念シンポジウム 水の環～つながり はじまる～

(第3種郵便物認可)

中

流域 一体で水管理を

知事、京都の集会で講演

次世代に継承するべき水管理のあり方を考える集会が二十六日、京都市内であり、嘉田由紀子知事や琵琶湖の水を水道水に利用している京都市の門川大作市長が記念講演し、水源の価値、思いなどを訴えた。

嘉田知事は講演で「有馬温泉（神戸市）で蛇口をひねっても半分は琵琶湖の水」と指摘。行政体で分け隔てずに、流域一体で水管理を考える必要性を説いた。

門川市長は、京都市内のデパートで一万人に聞いたおいしい水のアンケート結果は、京都市水道が五割余り、国産ミネラルウォーターや二割強、外国産は二割弱だったと紹介。市水道水について「料金は市販の水の四百分の一」と説明、「輸送などエネルギー消費を琵琶湖に感謝した。



水管理のあり方について話した嘉田知事
=京都市上京区の京都ガーデンパレスで

た。(井上靖史)
地域の水を大切にしている活動実績を報告した。

今だから伝えたい水の価値 ー近い水 遠い水 」

中日新聞社 滋賀版 平成26年1月27日(月)朝刊掲載から

このコーナーは“もっとつながる～びわことみやこから”でした。

嘉田知事は京都の水～淀川流域のみならず、兵庫県の有馬温泉までつながりがあると少し驚いたお話を伺いました。上流と下流とのつながり・・・

さて、どこまでのつながりを考えられるのであろうか、本当に近い水を考えると遠い水につながるお話でした。これから水を学ぶ楽しみがひとつ増えたご講演でした。

また、愛知川土地改良区の重森篤専務理事様、そして針江生水の田中義孝会長様、滋賀県嘉田知事VS京都市門川市長の談義には以外な展開で会場を笑いで包み込んでいました。連携なくしては水を語れない時代がやって来たのかもしれません。

皆様、ご講演頂き有難うございました。

しかしこの井上靖史記者には面白いところを掲載して頂けたと思います。

Com aqua の趣旨に沿って強調したいコメントにバッヂリです。(事務局:河合)